

の報告は予組合の情勢そのものであり
 大正十五年十一月廿八日の東京精糖芝
 浦工場の手派より去る四月七日の三河
 島~~本~~の手派に至るまで件数手派八
 組派七、若知人員七百余名である。
 日本紡織労働組合 岩内善作氏
 三月末糖又部員三十名が労働組同盟に
 復帰し乍らく宣傳せしめてあるがそ
 の真相は、糖又部員は三十人ともな
 いて東京モ入り会社金貸工はても二千年